

学生の地域活動における移動支援の アクションリサーチ

—「行きたいのに行けない」現状の改善を目指して—

島根県立大学地域政策学部

4年 寺迫麟

自己紹介

寺迫 麟

島根県立大学地域政策学部
4年(1期生)

岡山県岡山市出身

はまだ協働学舎ファンタス
(学生サポーター)



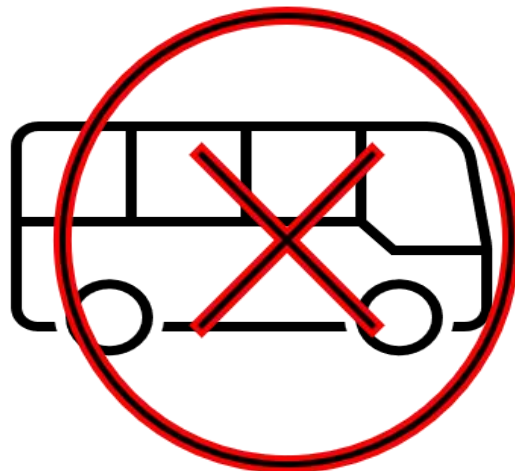
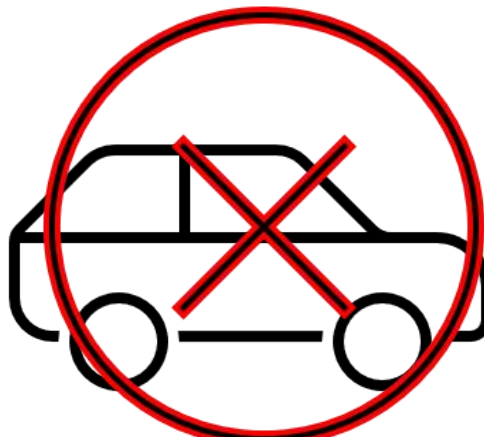
目次

1. 背景「行きたいのに行けない」
2. 研究に至るまでの経緯
3. 研究の目的と特徴
4. 学内調査
5. 実証実験へ
6. 実証実験から明らかになったこと
7. まとめ

1. 行きたいのに行けない

免許あるけど
車がない

バスや鉄道では行きにくい
行くことができない



イベント企画
準備や打ち合わせ



地域活動
(中山間地域)



問題意識の共有と課題化

「浜田若者会議」を代表して2022年、はまだ一日議会へ登壇。
発言テーマは「学生の地域活動の現状と浜田市における地域交通」



2. 研究に至るまでの経緯

区分	主な出来事
第1フェーズ	2021年 浜田市が設置した「浜田若者会議」に参加する。 2022年 若者会議を代表して「はまだ市民一日議会」で問題意識を共有
第2フェーズ	2023年1月 はまだ協働学舎ファンタス立ちあげ 2023年4月 地域活動における学生の交通事情調査及び研究として研究費を予算化
第3フェーズ	2023年10月学内アンケート調査実施
第4フェーズ	2023年12月17日～2月29日 実証実験実施 2024年10月3日 浜田市ヒアリング調査 2024年12月10日 浜田市ヒアリング調査

3. 研究の目的と特徴

<目的>

島根県立大学浜田キャンパスの学生が交通手段を理由に行きたい地域活動に行けないという現状の改善

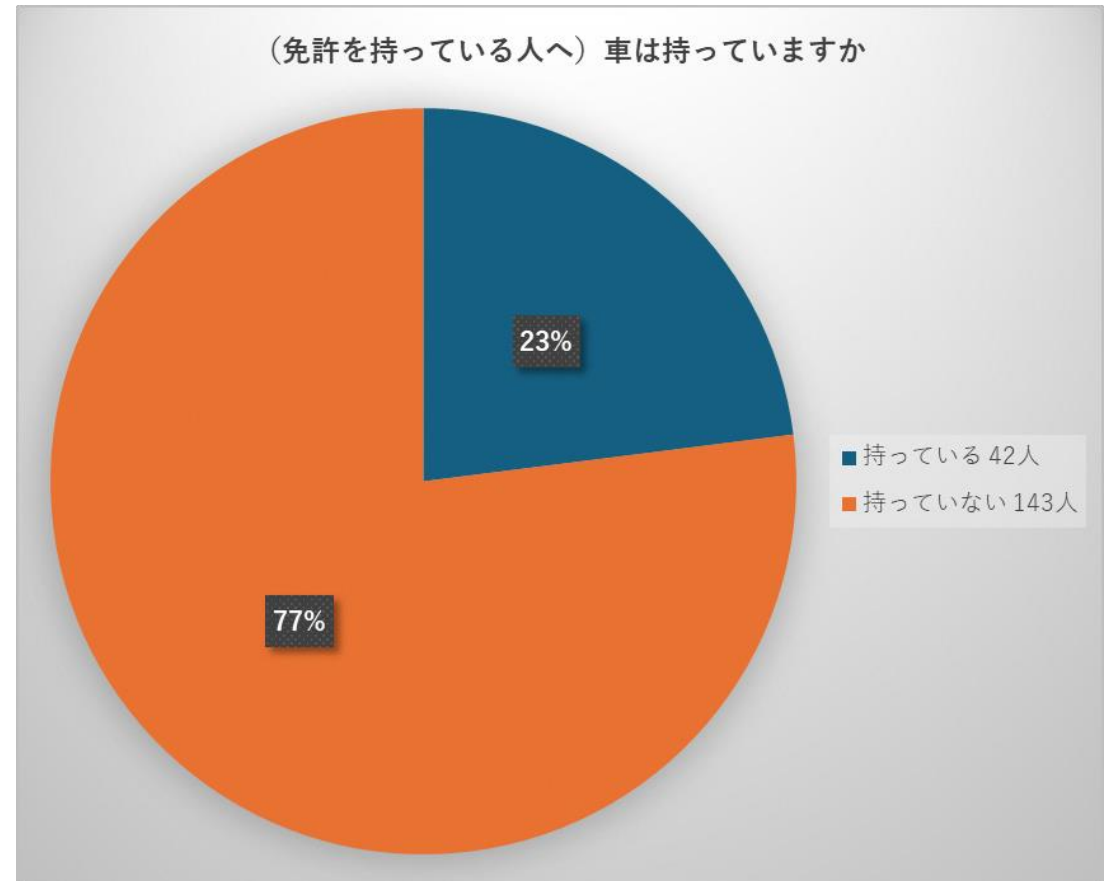
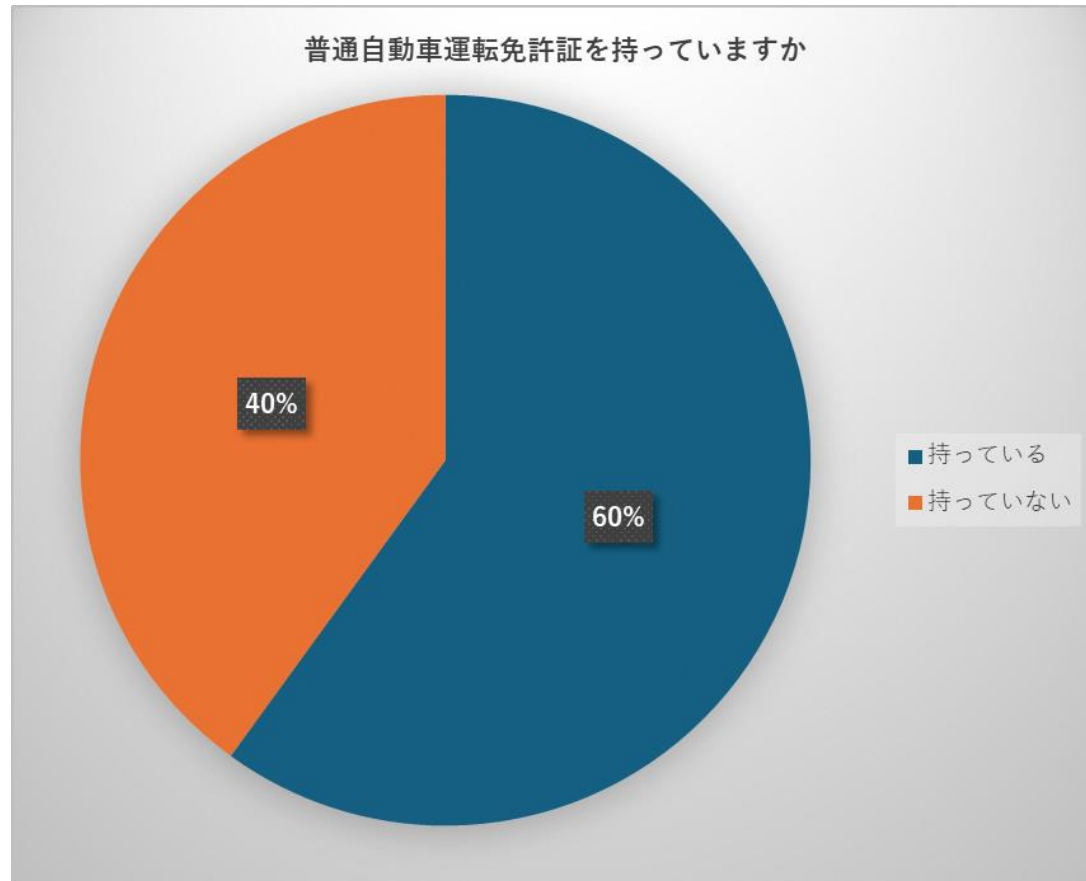
<特徴>

アクションリサーチとは、望ましいと考える社会的状態の実現を目指して研究者と研究対象者とが展開する共同的な社会実践のこと。目標とする社会の実現へ向けて「変化」を促すため、研究者が現場活動に「介入」していくことを指す

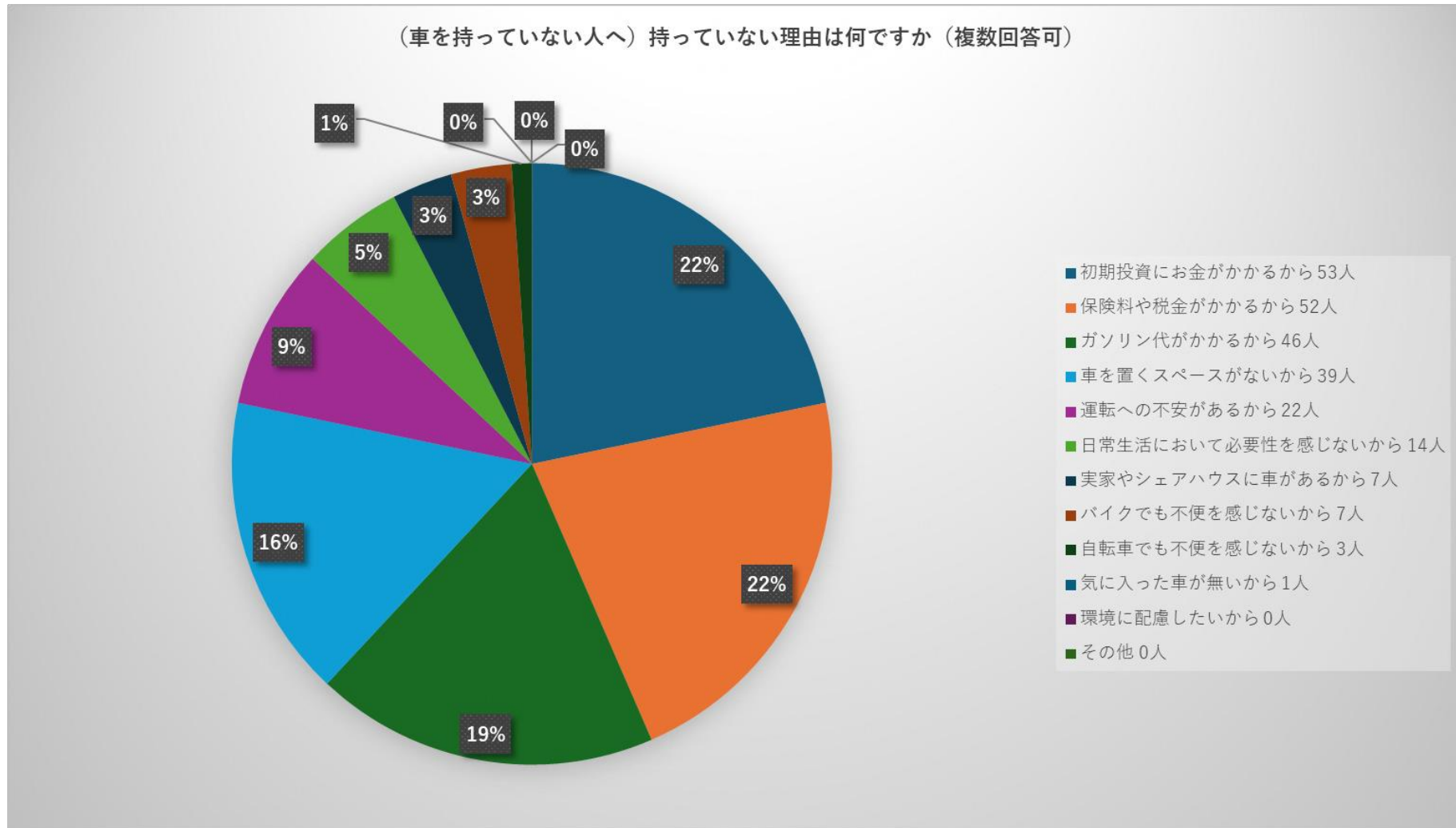
4. 学内調査から明らかになった4つのこと

- ① 免許を持つ学生の数に対して自家用車を持つ学生数が少ない
- ② 自家用車を持たない、持てない理由として、初期投資や維持費用が大きく関係している
- ③ 交通手段が原因で行けない場所のカテゴリーは、商業施設の次に地域活動が多い
- ④ 地域活動に行く際、カーシェアより学生が活用できる乗合タクシー制度の方が需要がある

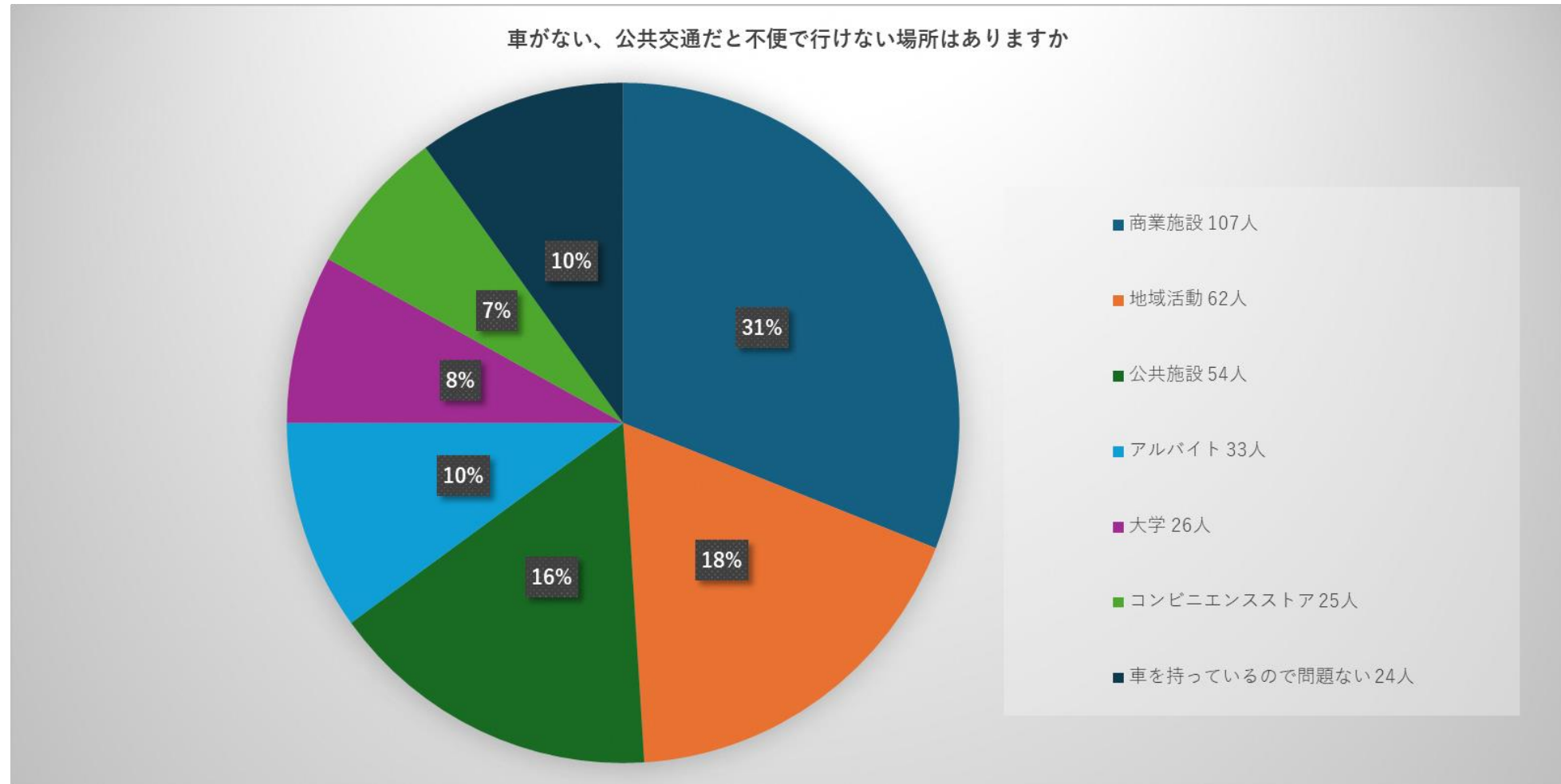
①免許を持つ学生の数に対して自家用車を持つ学生が少ない



②自家用車を持たない、持てない理由として、初期投資や維持費用が大きく関係している

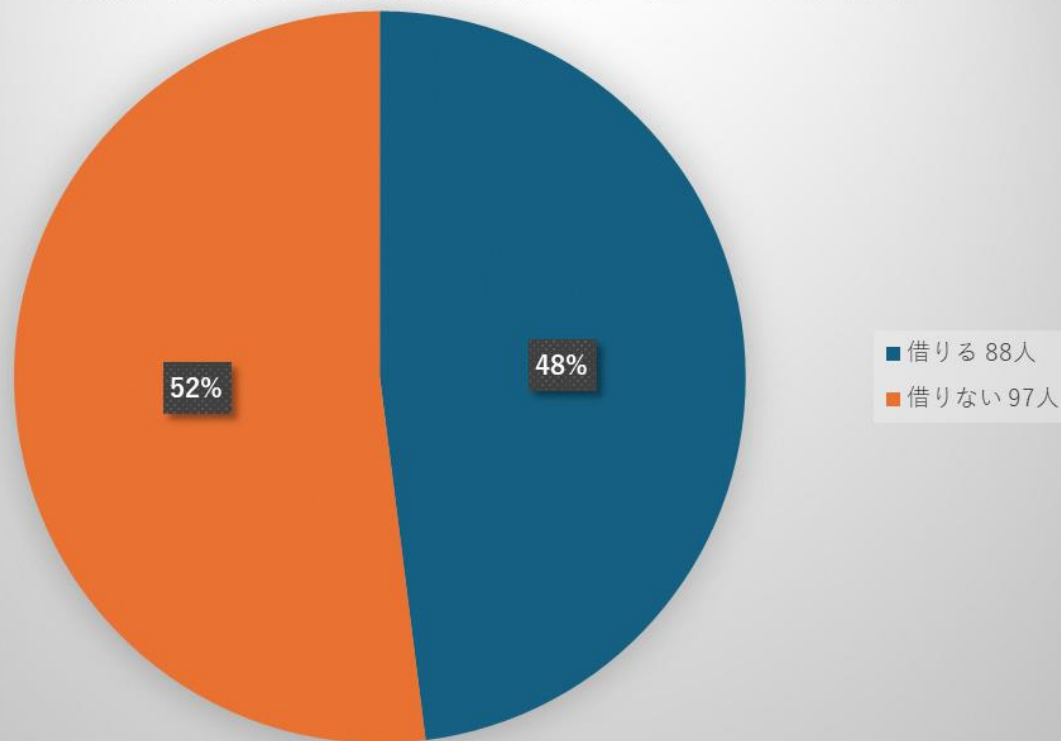


③交通手段が原因で行けない場所のカテゴリーは、商業施設の次に地域活動が多い

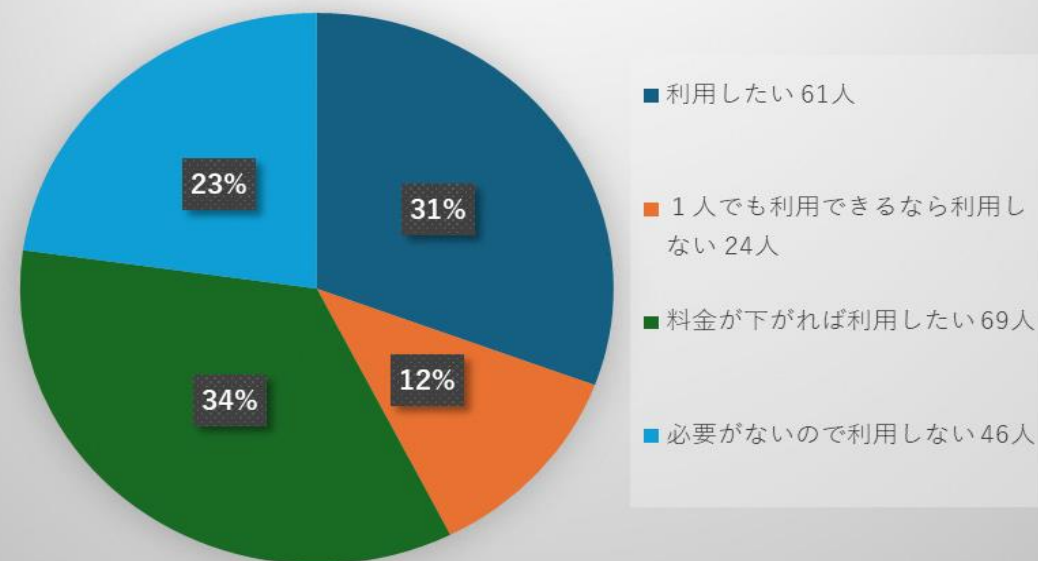


④地域活動に行く際、カーシェアより学生が活用できる乗合タクシー制度の方が需要がある

地域活動のみの用途で車が借りれるとしたら借りたいですか（費用はガソリン代のみ自費）



地域活動に参加する際、2人以上で乗るという条件で1人あたり片道700円の乗合タクシーを利用できるとしたら利用しますか



5. 実証実験へ

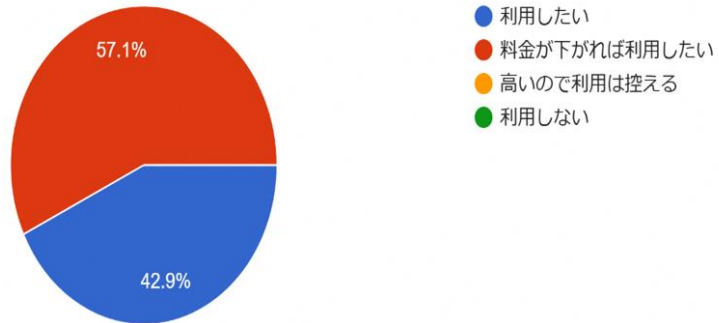


6. 実証実験から明らかになったこと

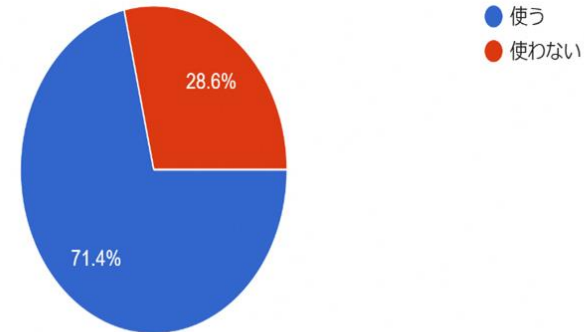
- ① 学生版あいのりタクシーであれば学生の地域活動の移動手段として需要を見込むことができる
- ② 自家用車を持つ学生でも利用する可能性がある
- ③ 予約方法や運行までの流れの検討や地域活動の定義付けなどの課題がある

①学生版あいのりタクシーであれば学生の 地域活動の移動手段として需要を見込める

700円（片道）であれば地域活動にタクシーを利用しようと考えますか
7件の回答

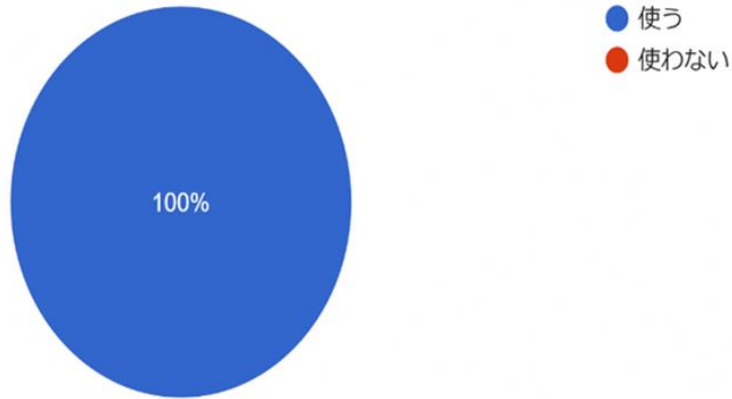


地域活動の移動でタクシーの利用する際、必ず2人以上の乗車でなければ使えない場合使いますか
7件の回答

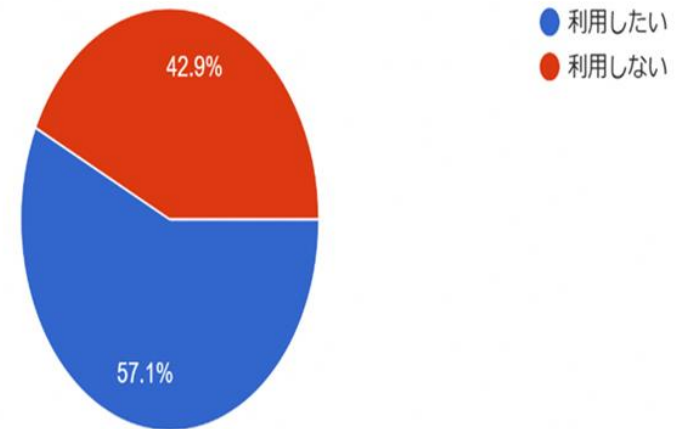


①学生版あいのりタクシーであれば学生の 地域活動の移動手段として需要を見込める

タクシーの事前予約締め切りが7日前でも利用しようと思いませんか
7件の回答

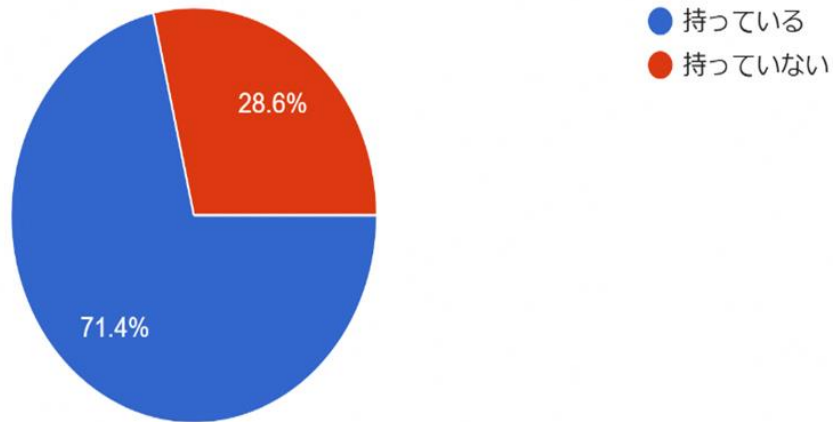


地域活動以外の用途でタクシーが利用できるの...か（範囲：浜田市内 料金：片道700円の想定）
7件の回答



②自家用車を持つ学生でも利用する可能性 がある

運転免許は持っていますか
7件の回答



- 冬期は中山間地域を中心に積雪がある
- 雪道に不慣れな学生など運転への不安から実際に乗合タクシーを活用したいと実証実験期間中に依頼があった

③予約方法や運行までの流れの検討や地域活動の定義付けなどの課題がある

- 料金設定
- 予約方法
- 運行計画
- タクシー会社との連絡システム

7. まとめ

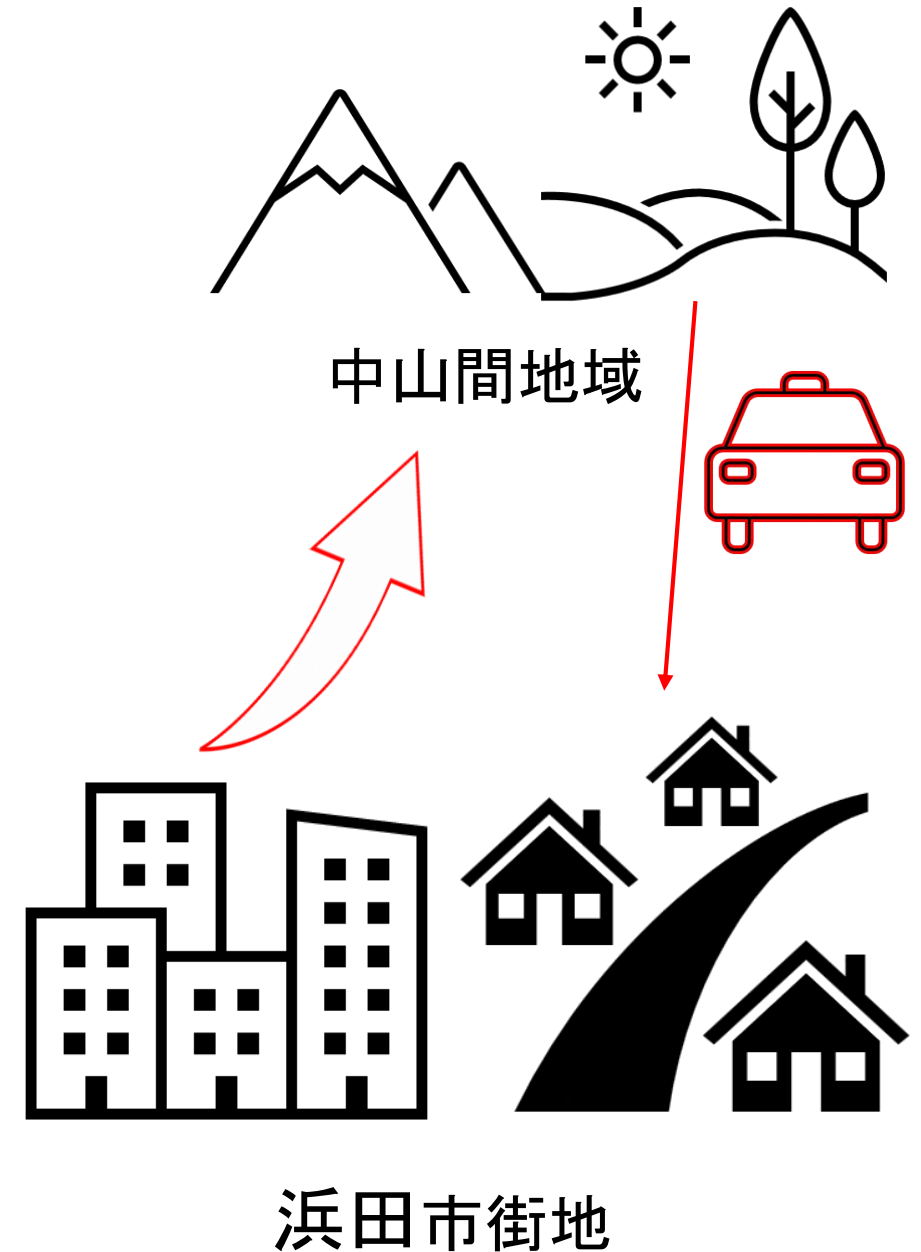
1. 島根県立大学浜田キャンパスにおいて地域活動に行きたいが、行けないという学生がいる現状を明らかにすることができた
→この研究が2024年2月12日付の朝日新聞で「若者も高齢者と同じく交通弱者」と掲載され、問題の共有につながった
2. 改善策として乗合タクシーの導入が最善だと明らかになった
3. 来年度、浜田市がこの制度の実現に向けて準備を進めている

 学生版あいのりタクシーの実現

「行きたいけど行けない」現状の改善へ

学生版あいのりタクシー

- 学生は行きたい活動に行くことが可能になる！
- 地域側もこれまで以上に活動機会が増える！



本研究にご協力いただいた皆様
本当にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました！